

2024 年 12 月 2 日

フジ日本株式会社

フジ日本、Thai Wah Public Company との協業を発表

～アグリフード分野における世界市場への飛躍を目指して～

フジ日本株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：曾我 英俊、以下「フジ日本」）は、本年 11 月 26 日の公表通り、タイ国の食品大手 Thai Wah Public Company（以下、TWPC）との戦略的協業に合意し、タピオカでん粉及び関連食品の製造・販売事業に参入する運びとなりました。これに続き、TWPC が設立する新会社の株式 49%をフジ日本が譲受する予定となっております。また、本発表に伴い、タイ現地にて TWPC とのサイニングセレモニーが開催されましたことも併せてお報せ致します。

このパートナーシップは、フジ日本が掲げた長期ビジョンにて掲揚した「世界で闘う企業へ」「海外市場と新たな領域の確立」に呼応し、アジア太平洋（APAC）地域における事業展開を後押しするものであります。今後、未開拓市場への進出、流通網の強化、潜在成長力の高い分野への再投資といった新たな機会が開かれることを通じ、フジ日本の海外分野におけるプレゼンスを深め、そして製品ラインナップを充実させ、株主価値を高めながら、持続可能で長期的な成長を実現することを目指します。

ータイ現地でのサイニングセレモニーの様子ー



TWPC Ho 社長（左）とフジ日本 曾我社長（右）



セレモニーの出席メンバー一同

ー本協業にかかる両社コメントー

フジ日本 曾我社長：

「当社のパーパスである“フードサイエンスで世界をパワフルに”に呼応し、アジア太平洋地域（APAC）においてアグリフードビジネスをリードする Thai Wah Public Company Limited とのコラボレーションが実現できたことについて、大変光栄に思います。我々の合弁事業は、持続可能な生物資源から当社の食品開発技術を用いることで新たな価値を創造することができるでしょう。」

TWPC Ho 社長：

「本パートナーシップは、当社のアグリフード産業における革新と持続可能性へのコミットメントを意味します。当社とフジ日本株式会社の専門知識を掛け組み合わせることで、タピオカ加工事業における飛躍的な進歩と、世界市場における当社の軌跡を残すことが可能となるでしょう。」

－TWPC 概要－

キャッサバでん粉をベースとした食品原料・製品並びに生分解性素材を専門とする東南アジア有数のリーディングカンパニー。創業から 78 年もの歴史を持ち、同社は、農場から食卓までに至る持続可能性や食のイノベーションに取り組む。8 カ国に 16 か所もの製造拠点を構え、販売網は 40 カ国以上に及ぶ。

(本件に関するお問い合わせ先)

・フジ日本株式会社 企画管理部 Tel：03-3667-7811

(参考)

TWPC コーポレートサイト：

[Thai Wah Public Company \(TWPC\)](#)

TWPC のプレスリリース：

[Thai Wah and Fuji Nihon Join Forces: A Leap Towards Agri-Food Innovation and Global Growth | Thai Wah Public Company \(TWPC\)](#)

※ 掲載のニュースリリース情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

以上